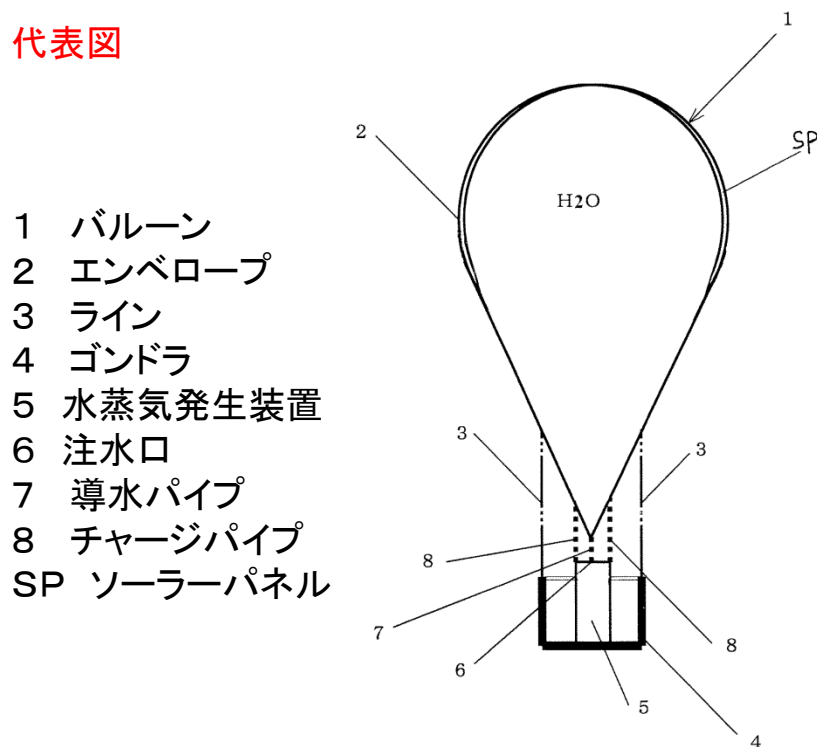


海・空等輸送機械

水蒸気によりクリーンな飛行が可能な飛行体

発明の名称	水蒸気式飛行体		
出願人/権利人	岡田 健志	発明者	岡田 健志
出願日	平成29年5月26日	出願番号	2017-104413
公開番号	2018-199386	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

浮揚ガスとして水蒸気を用いるバルーン、飛行船等の飛行体

特徴

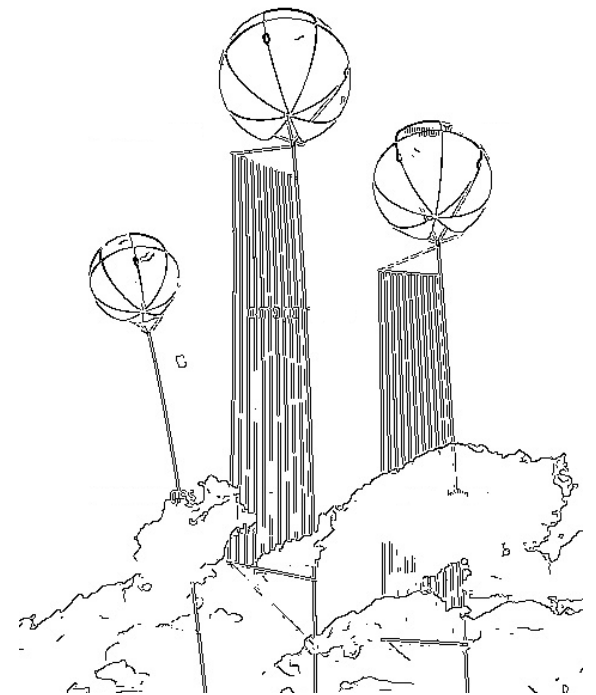
浮揚ガスとして水蒸気が封入されるエンベロープと、エンベロープの下方に取り付けられたゴンドラを有する飛行体であって、ゴンドラには水蒸気発生装置が設けられている。燃料油と燃料油を燃焼させるボイラーを備えた従来の水蒸気発生装置を搭載した飛行体に比べて軽量で、CO₂を排出しないクリーンな飛行が可能である。また、メンテナンスも容易に行え、飛行可能時間が長期化できる。また、電力による水蒸気発生に起因してエンベロープ内の圧力制御等が容易に行え、総合的な飛行性能の向上が図られるので、ライニングコストが削減できるメリットがある。

関連分野

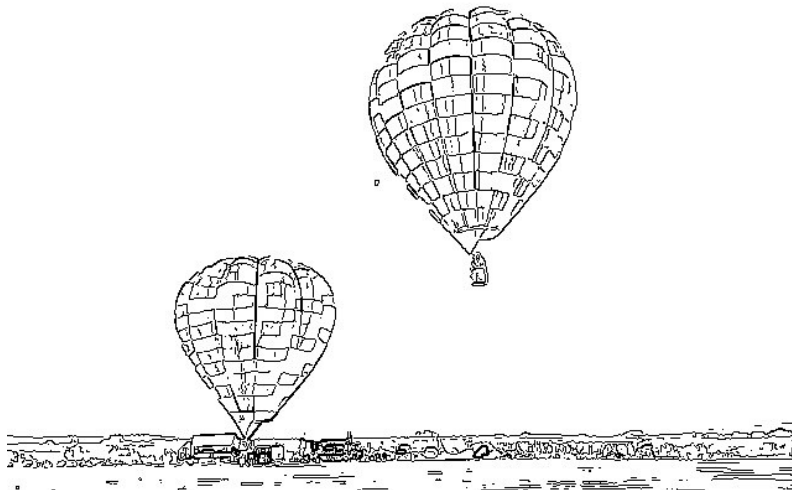
業務用機械、電気機械、エネルギー、運輸サービス



飛行船



アドバルーン



気球

応用の可能性

- ・飛行船
 - ・気球
 - ・アドバルーン
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・株式会社エイ・イー・エス | ・株式会社ジャパンバルーンサービス |
| ・パナソニック株式会社 | ・有限会社仁平製作所 |
| ・飛行船ネットワーク株式会社 | ・セコム株式会社 |
| ・株式会社気球製作所 | ・トーテックス株式会社 |
| ・有限会社エアロノーツ | など |

岡田 健志氏の本発明に関する最新動向

- ・本件特許に関連する情報はインターネット上には見受けられない。